

## ◆人権教育 高齢者・障害者

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	高齢者	691	一枚の絵てがみ (アニメ)	V	43	小 中 青 教 P 一 般	中学2年生の沢田梢は『学校だより』の編集委員。夫を亡くしてから花作りを生き甲斐にして一人暮らしをしている祖母の敏江が、近隣のお年寄りたちが集まる“絵手紙クラブ”に参加することとなる。梢は『学校だより』の仲間と一緒に、敬老の日特集のためその“絵手紙クラブ”取材することになり、楽しそうに集う高齢者たちや日本文化に触れたいとやって来た外国人たちと出会う。
人権教育	高齢者	751	港まちの小さなネットワーク	V	51	中 青 教 P 一 般	高齢者の「自立」「参加」「ケア」「自己実現」「尊厳」というテーマに焦点をあて、神戸の高校に通う看護婦志望の高校生と高齢者の心の交流やボランティア活動から広がっていく人々のふれあいを描いている。
人権教育	高齢者	872	もう一度あの浜辺へ	V	38	青 P 一 般	日常生活の中で高齢者の人間としての尊厳を奪うようなことがないかどうか振り返り、高齢者が安心して心豊かな生活を送ることができる社会を築いていくにはどうすればいいのかを考えるために製作された。
人権教育	高齢者	936	老いてこそ我が道をゆく みたらし団子	V 字幕	54	小 中 青 教 P 一 般	高齢者が、周りの人間の目を気にすることなく、生き生きと生きていくためにすべきことは、仲間と互いに助け合いながら住むことのできるグループホームを作ろうとする主人公とその家族との関わりを描きだす。
人権教育	高齢者	937	ホーム・スイートホーム 誰にでも帰りたい家が有る	V	112	中 青 教 P 一 般	2000年4月から介護保険制度が導入され、高齢者の介護問題が社会的にクローズアップされてきました。この映画は、これからの高齢者の社会づくりのあり方や介護のあり方など、多くの問題を提起しています。特に高齢者を抱える家庭では、家庭崩壊まで招いています。この映画は家庭崩壊の危機を迎えながら再生していくまでを、しかも明るく描いています。
人権教育	高齢者	1014	今日もよか天気たい	V	35	小 中 高 青 教 P 一 般	この物語は、視覚障害のある一人の女性“京子”を通して、周りの人が「人権」の大切さに気づいていくストーリー展開になっています。ある日、京子とたまたま同じバスに乗り合わせた乗客は、京子の存在や京子のとる行動によって、自分の心の中にある偏見や差別に気づいていきます。さらに、多くの人から支えられてきた京子自身もまた人の役に立つことで生き甲斐をみつめています。
人権教育	障害者	431	泣いて笑って涙して ポコアポコ	V	53	小 中 高 青 一 般	福井千佳子原作「銀色の輪」を教材に映画化したもので、車椅子で生活する女性が、「何かー？今の自分にできることをやってみよう。」と空き缶を集め、その収益で老人ホームに車椅子を贈り続ける様子を描いたもの。障害にも負けず力強く生きていく姿を感動的に描いている。
人権教育	障害者	632	風のひびき	V	54	青 P 一 般	聴覚障害というハンディをもちながらホームヘルパーとして働き、結婚問題で現実の壁を体験する一人の女性と、父親の反対にあいながらも彼女との結婚を真剣に考える若者とのかわりあいの姿を描いたもの。一人ひとりが違いを認め合い、共に生きていこうとする心の大切さを訴えている。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	障害者	635	ワシントンポスト・マーチ	V	40	中 青 P 一般	丘修三原作「ぼくのお姉さん」を素材に映画化したもの。生まれた時の病気がもとで脳性マヒになった少年が、お姉さんの結婚式への出席をめぐって、親戚の人たちによる反対という厳しい現実と直面しながらも、優しい心を失わず、明るく前向きに生きていく姿を感動的にとらえている。
人権教育	障害者	636	ぼくの青空 (アニメ)	V	26	小 中 青 P 一般	進行性筋ジストロフィー症と闘う義人の発病から、進行する病の中で心の支えとなった音楽やその仲間との出会い、そして別れまでの半生を描く感動アニメ。どんなに辛くとも、生きることをあきらめない、義人の叫びが、生命の尊さ、大切さを訴える。
人権教育	障害者	638	勇気あるホタルととべないホタル	V	17	幼 小 P 一般	羽が縮んで生まれたためにとべないホタル、彼を励まし、助け合う仲間のホタルたち。足が不自由で歩くことのできない妹のために、ホタル取りにやってきた姉と弟。子どもたちとホタルのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さを描く。
人権教育	障害者	692	みんなともだち	V	20	小	盲学校、聾学校、養護学校等で学ぶ子ども達の学校生活や学習の様子、交流の様子を描き、障害のある子どもたちに対する理解と認識を深め、心豊かな人間性の育成を図る内容になっている。
人権教育	障害者	693	がんばれまあちゃん	V	48	小 中 一般	生まれつき耳が聞こえないが、とても元気なまあちゃん。施設に行くことになり、家から遠くて通えないので寮に入ることになった。施設では専門の先生もいるし、ボランティアの人もいて、口を大きくあけて声を出す訓練をしたり、手話や字も教えてくれる。でも、まあちゃんがいなくなると、みんな寂しい。
人権教育	障害者	694	ぼくに涙はにあわない	V 字幕 副音	50	高 一般	高校時代、ラグビーの試合中、不幸にも首の骨を折り、手足の自由を奪われた一人の高校生が、悲しみのどん底から新しい可能性に向かって一つ一つ挑戦し、前進していく姿を感動的に描いている。
人権教育	障害者	765	生きています、15歳 (アニメ)	V	22	小 中 高 教 P 一般	井上美由紀さんは、未熟児網膜症のため幼くして失明した。その美由紀さんとお母さんとの心の交流や自分自身の成長を描いた著書「生きています、15歳。500gで生まれた盲目の女の子」のアニメーション化したもの。
人権教育	障害者	772	きいちゃん (アニメ)	V	21	小 中 高 教 P 一般	原作者の実体験を基に描かれた作品。20年程前、山元加津子先生は、身体が不自由な子どもたちが生活をしている養護学校に赴任した。そして、施設(寄宿舎)で高等部1年生のきいちゃんに出会った。きいちゃんは、小さい頃に高熱を出したため、手足を思うように動かさず、車椅子で生活していた。出会った頃、きいちゃんは元気がなかったが、お姉さんの結婚が決まり、自分も結婚式に出ると言って喜んでた。
人権教育	障害者	856	風の旅人 (宇都宮辰範くんの実話)	V	30	中	ほんとうの自立とは、他者の力をどれだけ借りられるか、にかかっている。
人権教育	障害者	857	Challenged チャレンジド	V	67	中 高 青 一般	障害者たちは、デジタル情報技術(パソコンやインターネット)が人間の生きることを助け、能力を高め可能性を拓げ、未来を拓き、何よりも誇りを取り戻すことが可能であることを証明したドキュメンタリービデオ。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	障害者	858	純がくれた命	V	20	小中高	度重なるいじめに耐えかねて自殺を図った少年。しかし彼はかろうじて一命を取りとめた。病室で難病に侵されている少年と同室になる。自分と違った「生きる」ことへの強い意志を交流の中で模索する。
人権教育	障害者	859	風と大地と梨の木と —カナエの結婚—	V	40	青一般	信彦の妹カナエが結婚の報告に帰ってきた。カナエが差し出す婚約者の写真を見た。「！！・・・」見る成り絶句する。なんとそこには車椅子に乗った青年がカナエと一緒に微笑んでいる。
人権教育	障害者	938	みみをすます	V 字幕	46	中青教P一般	聴覚障害者にとって「聴く」とは何か？そして、「聴こえない」という「障害」って何だろうということを、障害者自身の体験を共有することで考えていきます。楽しい音楽や詩を主人公のゆんみと同時に体感しながら、真のノーマライゼーションとは何かを問いかけます。
人権教育	障害者	939	現代社会と人権シリーズ 「障害者」それぞれの暮らしそれぞれの自立	V	27	中青教P一般	近年、障害のある人々が健常者と同様に生活し、活動できるよう、行政による政策・環境面での整備が進められています。そうした流れの中で、実際に地域社会へ出て、それぞれの暮らしを始めている障害者たち取材した作品です。
人権教育	障害者	965	壁カベのないまち	V 字幕	35	青教一般	健常者であった主人公は事故で車椅子生活となる。主人公の心の変化を通して、障害者を特別視したり、排除したりする健常者の意識「心の壁」の存在をなくし、障害の有無にかかわらず誰もが元気に暮らしともに生きる「ユニバーサル社会」の実現をめざすことの大切さを訴えます。
人権教育	障害者	966	知的障害者 —自立という選択—	V 字幕	22	青教一般	施設に暮らし自立を目指す知的障害者や、グループホームで暮らす障害者、就労している障害者、そして働きながら結婚生活を送っている障害者たちや、その周辺でフォローしている人々を実際に取材し、知的障害者との共生の今を考えます。
人権教育	障害者	967	身体障害者 社会に向けて自分を発信する	V 字幕	22	青教一般	パソコンを使って自宅で就労している身体障害者や、障害者ならではの視点で会社を営んでいる障害者、劇団を主宰することで自分を発信している障害者などを実際に取材し、身体障害者との共生の今をレポートします。
人権教育	障害者	968	精神障害者 歪んだイメージを問い直す	V 字幕	22	青教一般	精神障害者の7割を占める統合失調症を中心に精神障害者の今を伝えます。23年間入院していた精神病院を退院して自活を始める人、精神障害者の就労の現状、精神障害者のスポーツ団体、ピアサポート活動などを取り上げます。
人権教育	障害者	1079	無関心ではいけない！ 障害者の人権 障害者差別解消法を理解する	D 字幕	24	小中高青教P一般	視覚・聴覚障害者、車いすの方の日常を通して、障害を理由にした直接差別、障害を理由にしない間接差別、合理的配慮を怠った場合の差別について考えます。誰もが不自由しない社会環境作りを訴えています。
人権教育	障害者	1099	風の匂い	D 字幕 副音声	34	中高青教P一般	スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公。歩は知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間 (分)	対象	内 容
人権教育	障害者	1104	合理的配慮の実践法 ～障害のある者、ない者が共に学ぶ～	D	20	教P一般	様々な特性・症状を持った障害児たちが生き生きと学校生活を送るために、どのような配慮をすれば良いか、具体例で示します。子どもたちに合理的配慮を身につけさせていくためには、まず指導者・保護者が、合理的配慮を正しく理解する必要があります。
人権教育	障害者	1110	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ⑤ お互いの本音が伝わる時—障害者—	D 字幕 副音声	24分	高青 教P 一般	雇用分野に関して改正障害者雇用促進法が、雇用以外の分野に関して障害者差別解消法がそれぞれ施行され、事業者・事業主に対して、障害者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。障害のある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなど具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか、また障害のある人から発信することの重要性を示します。
人権教育	障害者	1115	知りたいあなたのこと 外見からはわからない障害・病気を抱える人	D 字幕 副音声	21分	中高 青 教P 一般	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲には理解されず、辛い思いをすることもあるといいます。この作品では、二人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えていく内容です。
人権教育	障害者	1120	知りたいあなたのこと 視覚障がい者の生活・気持ち	D 字幕 (英語・中国語にも対応)	21分	小中 高青 教P 一般	目が見えないということ、私たちはどこまで想像できているのでしょうか。視覚に障がいを持つ方々は、いろんな場面で危険や不安を感じながら生活を送っています。この作品では、3人の全盲の方と一人の弱視の方への取材をもとに、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容になっています。